

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第2回鴻巣市シティプロモーション推進懇話会
開催日	令和5年1月29日(日)
開催時間	午後3時00分 開会 ・ 午後4時45分 閉会
開催場所	鴻巣市にぎわい交流館 2階多目的室
出席者(委員)氏名 (出席者数)	齊藤 哲也(アドバイザー) 亀谷 礼子 生川 由美 平山 八重 堀越 孝雄 佐宗 勇志 伊藤 恵 小野 修作 天野 雄大 山崎 益美 (10名)
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	真鍋 透 斎藤 徹 澤田 稔行 (3名)
事務局職員職氏名	市長政策室長 藤崎 秀也 市長政策室参事兼総合政策課長 鈴木 誠司 総合政策課主査 羽鳥 敦 総合政策課主事補 野中 杏樹
傍聴者の可否(傍聴者数)	不可
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 3 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画について 4 その他 5 閉 会

<p>会議の内容</p>	<p>(1) 令和4年度事業報告について事務局から説明した後、アドバイザーからシティプロモーションを契機としたまちづくりの視点として、①当事者主体・あるもの探し・加点主義 ②できることから、この指とまれ方式で ③足を引っ張り合うのではなく手を引き合う社会に、の3つが重要との助言を受け、「市民にどのように関わってもらうか」をテーマに意見交換を行った。</p> <p>委員からの主な意見は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムでは難しい内容と身近な内容のバランスが良く、来場者の満足度の高さにつながった。一方で、若い人の来場が少なく、今後も定期的な開催や子育て世代にも興味を持ってもらえる工夫、参加できる形式の検討が必要だと思う。 ・進捗状況や成果などを市民にオープンにすることで、シビックプライドからさらにパブリックマインドの醸成も期待でき、当事者意識も高まると思う。 ・気軽にコミュニケーションができるプラットフォームがあるといい。若者であればTikTokなどを取り入れることも一つ。 ・市外の人から見ると鴻巣の自慢にコウノトリという答えが少ない。ヒナの誕生などのきっかけを逃さず市民に関心をもってもらう取組が必要だと思う。 ・動画は自然豊かなまちを表現できていて良い。さらに生活の利便性や街並み、まちなのにぎわいも紹介してほしい。 ・シティプロモーションサイトでは、インタビューした人に次の人を紹介してもらうことで人のつながりが作れると思う。 <p>(2) 令和5年度事業計画について、事務局から説明した後、「自分にできることは何か」をテーマに市長を交えて意見交換を行った。</p> <p>委員からの主な意見は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群読懇話会など自らの活動を発展させ、地域や様々な人との関わりを深めていく。 ・こうのす広場の開催やふるさと納税など、目的をしっかりと果たしていく。 ・梨ビールを増産するほか、クラウドファンディングのノウハウを提供できるよう、様々な場に顔を出していく。 ・高崎線開通140周年を迎える年であり、地域との関わりをさらに強めていく。 ・推奨土産品制度などで地域の活性化と観光客の満足度向上を図っていく。 ・需要に合ったサービスを通じ、市民と事業所のつなぎ役という役割を果たしていく。 ・市内小中学校などに協力を仰ぎ、ウクライナへの支援を実施している。これまで築いてきたつながりや実績を生かして様々な活動を展開していく。 ・職場やSNSで鴻巣のいいところを伝えている。そういう人が一人でも増えるように活動を続けていく。 ・マスコミの発信は反響も大きく、関わった方に大きな声となって戻ってくる。他の人や地域での参考になることも多いので、このような場での情報も大切にしながら地域の活動を応援していく。
<p>配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 令和4年度懇話会委員名簿 ・ 懇話会資料 ・ シティプロモーション推進フォーラム来場者アンケート集計結果